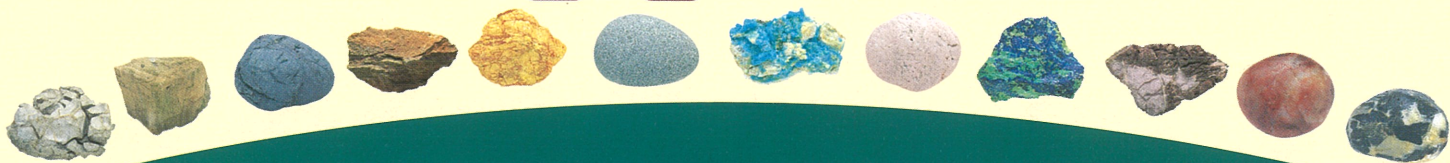


第2回  
市民コレクション展

とって、集めて、整理して

# いつしか石に魅せられて



2002年2月3日(日)～2月24日(日) 2月3日(日)は午後1時より公開

**開館時間**

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

**休館日**

毎週月曜日(ただし2月11日は開館し、翌日が休館となります)

**後援**

ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

**入館料**

大人 520円(420円) / 高・大学生 320円(200円)  
小・中学生 100円(50円)

※( )内は20名以上の団体料金です。  
※未就学児、65歳以上の方、障害者手帳を持参の方は入館無料です。  
※この料金には、本館内常設展・野外施設入場料が含まれています。  
※第2・第4土曜日は、小・中・高校生は入館無料です。

■次回企画展

第24回企画展『コリアの自然史—大陸と日本を結ぶ生きものたち—』  
2002年3月16日(土)～6月16日(日)



ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県岩井市大崎700番地 TEL.0297-38-2000 ●ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>

古紙配合率100%再生紙を使用しています。



## 第2回 市民コレクション展

# とって、集めて、整理して

—いつしか「石」に魅せられて—

最近のアウトドアブームの到来とともに、キャンプやハイキングなどを楽しむ人たちが増えてきました。そんなとき、ふと、おもしろい形や模様の「石」に興味を抱いて手にとってみたことはありませんか。

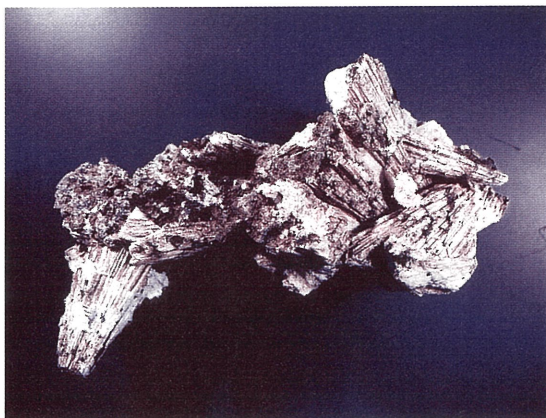
また、素晴らしかった旅の思い出や苦勞して登った山の頂の清々しさの記念に「石」を手にしたことはありませんか。その「石」は、少しずつ風化していく記憶をときどき私たちの心によみがえらせてくれるでしょう。

いろいろな「石」…岩石や鉱物には、多彩さ、形の不思議さ、美しさなど、人には作り出すことができない不思議な魅力があります。また、「石」には地球に関するさまざまな科学的情報がたくさん詰まっています。このような「石」のもつ不思議さにふれて「石」に魅せられていった人たちが、やがてたくさんの「石」を集めていきます。

子どもたちの理科離れが進みつつある今日、さまざまな視点で「石」に興味を持つ人が増えてつつあることは大変嬉しいことです。今回の特別展では、あらゆる観点からみなさんが集めた「市民コレクション」の紹介を通じて、「石」の魅力にふれ、それが自然科学に対する関心の出発点になればと思います。また、このような「市民コレクション」の今後の展開と、それに関わる自然博物館の役割、そして鉱物採集のマナーなど、私たちが今、直面しているさまざまな問題について、鉱物標本を例に考えます。



自然観察会で熱心に鉱物を探す人たち(桂村)



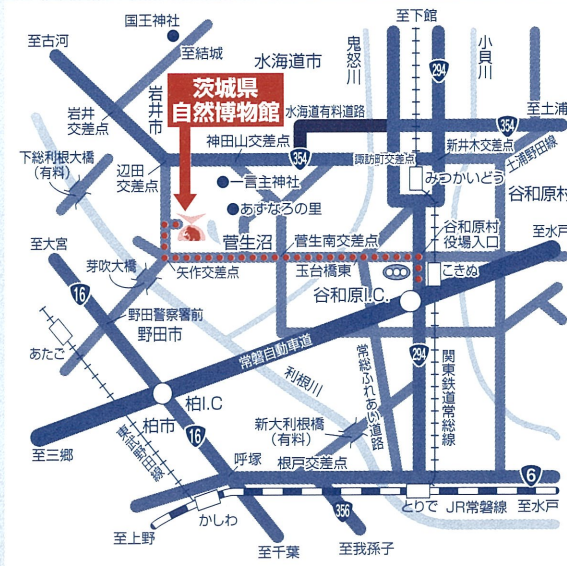
灰柱石 長野県川上村産(原田 明氏寄贈)  
鉱物収集家の原田氏により、日本で初めて採集されたもの



ふしぎな形をした亀甲石  
正体は炭酸塩ノジュール



(左) 世界最高峰エベレスト(木村勝久氏撮影)  
(右) 植村直己氏が1970年に山頂から持ち帰った石(木村勝久氏所蔵)



### 交通案内

- 車利用の場合
  - ・常磐自動車道谷和原I.C.から20分
  - ・古河方面から境町経由50分
  - ・下館方面から下妻市経由1時間10分
  - ・土浦方面から水海道市経由1時間
- 鉄道・バス利用の場合
  - ・関東鉄道常総線水海道駅から関東鉄道バス「岩井車庫行き」又は「岩井西高行き」乗車→「辺田三叉路」下車、茨城急行バス「野田市駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
  - ・東武野田線愛宕駅から茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車→「自然博物館入口」下車→徒歩10分
  - ・東京駅八重洲南口から高速バス「岩井行き」乗車→「辺田善取神社」下車、茨城急行バス「野田市駅行き」に乗り換え→「自然博物館入口」下車→徒歩10分

※ペット及び遊具等の持ち込みはご遠慮下さい

### 主な展示内容

- ◆はじめに  
君も宮沢賢治になろう!
- ◆わたしの石、ぼくの石
- ◆私の思い出の石コーナー  
色や形に魅せられて/思い出の記念に/汗と涙の結晶
- ◆いろいろな鉱物コレクション  
私は鉱物が大好き/職場で見つけた鉱物/研究のための鉱物